

Clinician-Rated Dimensions of Psychosis Symptom Severity (I - V)

対象となる個人に対するすべての情報に基づいて、あなたの臨床判断により、以下の徴候の有無と重症度の過去 7 日間について評価してください。

	領域	0	1	2	3	4	評点
I	幻覚	存在しない	うたがわしい (重症度か期間が病的と考えるには不十分)	存在するが軽度 (その声に、内容に従って行動するような影響力はほとんどない。その声に悩まされることはあまりない)	中等度に存在 (その声に応じるような影響力がいくらかある。あるいは、その声にいくらか悩まされている)	重度に存在 (その声に応じるような影響力が強い。あるいは、その声にひどく悩まされている)	
II	妄想	存在しない	うたがわしい (重症度か期間が病的と考えるには不十分)	存在するが軽度 (その妄想的な考えに、内容に従って行動するような影響力はほとんどない。その考えに悩まされることはあまりない)	中等度に存在 (その考えに従って行動するような影響力がいくらかある。あるいは、その考えにいくらか悩まされている)	重度に存在 (その考えに従って行動するような影響力が強い。あるいは、その考えにひどく悩まされている)	
III	解体した会話	存在しない	うたがわしい (重症度か期間が解体していると考えerには不十分)	存在するが軽度 (話を理解することがいくらか難しい)	中等度に存在 (話を理解することがしばしば難しい)	重度に存在 (話を理解することがほとんど不可能)	
IV	異常な精神運動行動	存在しない	うたがわしい (重症度か期間が異常な精神運動行動と考えるには不十分)	存在するが軽度 (異常な、または奇妙な運動行動やカトニアがときおりある)	中等度に存在 (異常な、または奇妙な運動行動やカトニアが頻繁にある)	重度に存在 (異常な、または奇妙な運動行動やカトニアがほぼ常にある)	
V	陰性症状	存在しない	表情への表出、韻律(言葉の抑揚やリズムなど)、仕草、自発的行動の疑わしい程度の減少	軽度表情への表出、韻律(言葉の抑揚やリズムなど)、仕草、自発的行動の減少が存在するが軽度	軽度表情への表出、韻律(言葉の抑揚やリズムなど)、仕草、自発的行動の減少が存在し、中等度	軽度表情への表出、韻律(言葉の抑揚やリズムなど)、仕草、自発的行動の減少が存在し、重度	

Clinician-Rated Dimensions of Psychosis Symptom Severity (Ⅵ～Ⅷ)

対象となる個人に対するすべての情報に基づいて、あなたの臨床判断により、以下の徴候の有無と重症度の過去 7 日間について評価してください。

	領域	0	1	2	3	4	評点
Ⅵ	認知障害	存在しない	うたがわしい (認知機能が、年齢や社会経済的地位から期待される範囲外、例えば平均の 0.5SD)	存在するが軽度 (認知機能が、年齢や社会経済的地位から期待される程度に比してのいくらかの低下、例えば平均の 0.5-1SD)	中等度に存在(認知機能が、年齢や社会経済的地位から期待される程度に比しての明らかな低下、例えば平均の 1-2SD)	重度に存在 (認知機能が、年齢や社会経済的地位から期待される程度に比しての明らかな低下、例えば平均の >2SD)	
Ⅶ	うつ病	存在しない	うたがわしい (悲しく感じたり、沈んだり、落ち込んだり、希望を持てなかったりすることがときにある；誰かの期待に沿えなかったことなど何かについて懸念するがとらわれてはいない)	存在するが軽度 (とても悲しく感じたり、沈んだり、中等度に落ち込んだり、希望が持てなかったりする時間帯がしばしばある；誰かの期待にそえなかったことなど何かについて懸念し、そのことにいくらかとらわれている)	中等度に存在 (ひどく落ちこんだり、ひどく希望が持てなかったりする時間帯がしばしばある；罪や過ちにとわられている)	重度に存在 (日常的に、ひどく落ち込んだりひどく希望もてなかったりする：妄想的な罪の意識、または根拠のない状況と著しく不釣り合いな後悔)	
Ⅷ	躁病	存在しない	うたがわしい (高揚した、または開放的な、または苛々した気分が、あるいは、いくらかの落ち着きのなさがときに生じる)	存在するが軽度 (高揚した、または開放的な、または苛々した気分の、あるいは、落ち着きのない時間帯がしばしばある)	中等度に存在 (非常に高揚した、または開放的な、または苛々した気分の、あるいは、とても落ち着きのない時間帯がしばしばある)	重度に存在 (非常に高揚した、または開放的な、または苛々した気分の、あるいは、とても落ち着きのない時間帯が日常的にある)	